「岡山県北地域における病院前循環器救急対応能力の向上に対する教育効果の検討」へのご協力のお願い

代表者　　所属：津山中央病院　循環器内科　職名：医長　氏名：藤本　竜平
共同担当者　　所属：津山中央病院　循環器内科　職名：副院長　氏名：岡　岳文

1.　目的

脳卒中・循環器病対策基本法の公布を受け、循環器医は救急救命士との連携を含めた消防機関との協力体制強化を求められているが、参画は十分でない。本研究の目的は、救急隊員を対象とした循環器専門医による双方向性のレクチャーや実習を開催し、その教育効果を解析、病院前救急における循環器疾患対応能力の向上に資するかを検討する。

2.　対象と方法

岡山県北地域における美作地域メディカルコントロール協議会（美作 MC）に関係する救急隊員を対象とする。

参加者は、救急救命士資格を保有し、救急医療業務に従事している者とする。

3.　研究期間

倫理委員会承認後　～　2026 年 3 月 31 日

4.　調査票等

研究デザイン:

本研究は観察研究として実施する。参加者は循環器専門医によるレクチャーを受けたグループ（介入群）と、レクチャーを受けていない通常の救急隊員グループ（対照群）に分け、両群の循環器疾患に関する知識と処置能力の変化を比較する。

研究手順:

<u>ベースライン評価:</u> 参加者全体に対して、循環器疾患に関する基本的な知識と処置能力を評価する事前評価を行う。その際に質問紙を用いた評価を行う。

<u>レクチャーの実施:</u> 介入群の救急隊員に対して、循環器専門医によるレクチャーを実施する。レクチャーでは循環器疾患の病態生理、症状評価、診断法、適切な急性介入方法などに焦点を当てる。

<u>フォローアップ評価:</u> レクチャー後、介入群および対照群の参加者に対して、循環器疾患に関する知識と処置能力の変化を評価する事後評価を行う。

解析方法:

<u>記述統計:</u> 参加者の基本的特性を記述統計学を用いてまとめ、介入群と対照群の比較を行う。

<u>循環器知識の変化:</u> 事前評価と事後評価のスコアを比較し、介入群と対照群で循環器知識の

変化を評価します。適切な統計手法（例: t 検定またはウィルコクソンの符号付き順位検定）を使用する。
処置能力の変化: 事前評価と事後評価のスコアを比較して、介入群と対照群で処置能力の変化を評価する。適切な統計手法を選択する。

結果の解釈:

解析結果を元に、循環器専門医によるレクチャーが救急隊員の循環器疾患に関する知識と処置能力に与える教育効果を評価し、結果を客観的に解釈する。

論文化と発表:

研究結果を論文としてまとめ、国内外の学術誌などに投稿し発表する予定である。
また、関連する国内外の学術会議でポスターセッションなどを通じて研究成果を発表する

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院　病院長　　林　同輔
連絡先：電話 0868-21-8111（担当：循環器内科　藤本　竜平）